

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2730

平成27年9月20日

RI2730地区
第1回 米山記念奨学会セミナー 次第

開催日時 平成27年9月20日(日)

会場 都城市 メインホテル 5F

出席範囲 地区役員、クラブ会長幹事、米山委員長、米山担当委員、カウンセラー

登録受付 13:00

開 会 14:00

司会進行	押川 伸生	学友委員会宮崎担当	(以下敬称略)
ガバナー挨拶	野中 玄雄	ガバナー	
講師紹介	達富 脩	部門長	
基調講演	岩邊 俊久	米山記念奨学会事務局長	
		「米山記念奨学事業とその成果」	

休憩 15分間

寄付推進について	田島 直也	寄付委員長
奨学生選考について	長嶺 貴臣	選考委員長
学友会活動報告	梶 茂吉	学友委員長
質疑応答	秦 喜八郎	理事
米山月間の取り組み	達富 脩	部門長

閉 会 16:00 閉会予定

平成27年(2015年)9月20日(日) 14:00 ~ 16:00
米山記念奨学会セミナー 出欠名簿①
 メインホテル (都城市)

<鹿児島県分区・クラブ>

分区	R C 名	役職	氏名
鹿児島県北部	出水	米山記念奨学会委員長	日置 孝一
	阿久根	欠席	—
	川内	欠席	—
	薩摩川内	欠席	—
	串木野	欠席	—
	宮之城	幹事	朝隈 一誠
	大口	財団委員長	原口 義広
鹿児島県西部	伊集院	欠席	—
	加世田	欠席	—
	枕崎	米山委員長	松下 一郎
	頤娃	米山記念奨学会委員会 委員長	山下 一英
	指宿	国際奉仕委員会 米山奨学会担当	山本 政行
鹿児島県中部	霧島	欠席	—
	国分	欠席	—
	国分中央	欠席	—
	加治木	欠席	—
	始良	R財団・米山記念奨学会委員会 副委員長	大野 文夫
鹿児島県東部	鹿屋	米山奨学会	井手口 孝
	串良	ロータリー財団委員長	川畑 紘一
	鹿屋西(2名)	米山委員長	松田 守男 樋山 時美
	志布志	欠席	—
	かのや東	クラブ活性化部門長	白坂 文夫
	きもつき	世話クラブカウンセラー	横山 伸一
	南九州大崎	欠席	—
	志布志みなと	国際奉仕(米山)委員長	羽島 孝雄
	鹿児島	米山奨学会委員長	重森 雅彦
	鹿児島南	欠席	—
	鹿児島西	米山記念奨学会委員長	山之氏 秀行
鹿児島県市内	鹿児島東南	欠席	—
	鹿児島中央	(地区委員出席)	—
	鹿児島西南	欠席	—
	鹿児島城西	(地区委員出席)	—
	鹿児島東	欠席	—
	鹿児島北	米山記念奨学会委員長	上田 耕平
	鹿児島サザンウィンド	米山記念奨学会委員会 委員長	西 孝一
鹿児島県奄美	奄美	欠席	—
	奄美中央	欠席	—
	奄美瀬戸内	欠席	—
		鹿児島分区合計	18

<宮崎県分区・クラブ>

分区	R C 名	役職	氏名
宮崎県北部	延岡	米山記念奨学会委員長	迫田 隅男
	延岡東	米山奨学会委員長	有野 潔
	延岡中央	米山記念奨学会委員会 委員長	酒井 弘
	日向	米山奨学会委員会委員長	安藤 幸市
	日向東	欠席	—
	日向中央	米山奨学会委員会 委員長	梶原 万次
	門川	欠席	—
宮崎県中部	宮崎	米山委員会委員長	塚田 正徳
	宮崎西	米山委員長	日高 均
	宮崎北	(地区委員出席)	—
	宮崎南		坂田 勝
	宮崎中央	(地区委員出席)	—
	宮崎東	欠席	—
	西都	R財団・米山委員長	岩切 昇
	佐土原	欠席	—
	高鍋	欠席	—
	えびの	欠席	—
宮崎県西部	小林	米山記念奨学会委員長	山口 昭典
	小林中央	欠席	—
	都城	米山小委員長	二見 康之
	都城北	米山委員長	清水 三郎
	都城西	支援プログラム委員長 米山奨学会担当	外山 俊明
	都城中央	ロータリー財団 米山記念 国際奉仕委員会	牧元 悟
	ジャパンカレントEクラブ	米山奨学会委員会委員長	廣田 みき
宮崎県南部	日南	欠席	—
	日南中央	欠席	—
	串間(2名)	幹事 米山委員長	有嶋 由紀夫 河野 清見
		宮崎分区合計	17
		65クラブ合計	35

平成27年(2015年)9月20日(日) 14:00 ~ 16:00
米山記念奨学会セミナー 出欠名簿②

メインホテル (都城市)

<講師、地区役員・委員>

	R C 名	役職	氏名	出欠
講師	東京江北	米山記念奨学会 事務局長	岩邊 俊久	○
地区役員・委員	延岡東	ガバナー	野中 玄雄	○
	指宿	ガバナーエレクト	大重 勝弘	×
	宮崎北	ガバナーノミニー	押川 弘巳	×
	宮崎中央	米山記念奨学会 理事	秦 喜八郎	○
	鹿児島	米山記念奨学会 評議員	伊藤 学而	×
	都城	地区研修リーダー	長峯 基	○
	延岡東	地区幹事	田島 幹洋	○
	宮之城	ガバナー補佐	小牧 紘一	○
	枕崎	ガバナー補佐	町頭 與志郎	×
	加治木	ガバナー補佐	小代 正隆	×
	きもつき	ガバナー補佐	久木山 元成	×
	鹿児島	ガバナー補佐	内村 文泰	×
	鹿児島南	ガバナー補佐	日高 文治	×
	奄美	ガバナー補佐	喜入 厚	×
	日向東	ガバナー補佐	児玉 富喜夫	○
	都城	ガバナー補佐	木場 智彦	×
	宮崎南	ガバナー補佐	橋口 正樹	×
	日南	ガバナー補佐	野崎 正彦	×
	延岡東	米山記念奨学会部門 部門長	達富 脩	○
	宮崎中央	米山奨学寄付委員会 委員長	田島 直也	○
	鹿児島南	米山奨学寄付委員会 副委員長	中島 秋津子	×
	宮崎北	米山奨学選考委員会 委員長	長嶺 貴臣	○
	鹿児島西	米山奨学選考委員会 副委員長	原 正親	○
	鹿児島中央	米山学友委員会 委員長	梶 茂吉	○
	鹿児島城西	米山学友委員会 委員	濱田 紘一	○
	西都	米山学友委員会 委員	押川 伸生	○
		講師、地区役員・委員合計		14
		総合計(各クラブ+講師、地区役員・委員)		49

ロータリー米山記念奨学会

「米山記念奨学事業とその成果」

国際ロータリー第2730地区
2015-16年度 地区米山セミナー

2015年9月20日(日)



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
事務局長 岩邊俊久

米山梅吉氏 (1868-1946)

生涯を貫く精神・信念

- ・教育への情熱、滞米8年の働きながらの苦学生生活
- ・三井銀行、三井信託(株)、(財)三井報恩会
- ・東京RC創立・初代会長、ガバナー、RI理事の要職歴任
- ・私財を投じての緑岡小学校創立(1937年)、校長就任
- ・アジア各地からの留学生を私費で支援
- ・質素な生活、一汁一菜主義、陰徳、give and give



「すべて人にせられんと思うことは、
人にもまたその如くせよ」

平和の文化構築(多様性)、政治・宗教を超えて世界的和衷友誼

奨学事業の始まりと全国展開

- 1952年 東京RC会長 古澤文作氏が「米山基金」の試案を発表。
→アジア諸国からの留学生を支援
- 1954年 第1期生 タイからソムチャード氏来日
- 1956年 東日本の二つの地区大会で決議。
「ロータリーの国際専任として最もふさわしい
企てであって、その連続性が望ましい。財団
法人として全国的な組織となすべきことを
ここに決議する」(第60地区大会決議文)
⇒東京RC単独事業から日本全国RCの合同事業へ
- 1957年 全国組織 「ロータリー米山奨学委員会」
初代委員長 RI理事 小林雅一氏



国際ロータリー理事会 決議

- 2004年11月「ロータリー名称・徽章の使用」に関する決議
- 「奨学生への奨学金の授与を通し、世界の理解と平和に貢献している財団法人ロータリー米山記念奨学会を賞賛するものである。」
そして、RIは米山記念奨学事業を日本における多地区合同(奉仕)活動として承認をした。
- ◆ 2014年1月「ロータリー学友の定義拡大」の決議
ロータリー学友として米山学友を正式に承認。

財団法人設立の趣意

「この法人は、ロータリーの理想とする国際理解と親善に寄与することを目的として設立する。(中略)この法人は、全国ロータリークラブの寄付を主たる財源とし、ロータリー会員によって運営され、ロータリー目的達成に寄与することを目的としている。」

(財団法人ロータリー米山記念奨学会設立趣意書)

■大学のグローバル化戦略

世界規模の人材獲得競争

■ 世界の留学生動向

1995年:170万人→2005年:300万人→2012年:410万人(2015:450万人)

■ 留学生受入れ国(OECD 2012データ)

①米国684,807人 ②英国534,555人 ③豪271,225人 ④独263,972人
⑤仏 ⑥カナダ ⑦露 ⑧日本141,599人... ⑩韓国59,194人
*中国328,330人(2013年413,900人 → 2020年に500,000人を目標)

■ 留学生派遣国(OECD 2012データ:世界で4,119,002人)

①中国636,354人 ②印226,056人 ③韓国136,592人 ④独123,229人
⑤トルコ ⑥仏 ⑦露... ⑩米国56,987人 日本60,138人

▼日本人の留学先(2012ユネスコ・OECD統計)

①中国21,126人 ②米国19,568人 ③英国3,633人 ④台湾3,097人

日本の大学のグローバル化戦略

- 2008年1月当時の福田康夫首相は、「留学生30万人計画」で、「少子化で危機にあるに日本の大学を支援するだけでなく、留学生を多く受入れて若い人の交流を進めないと日本は増々内向きになり、経済も弱くなる。」
- 文科省「外国人留学生の受け入れは、自国の理解者を増やすことで国益に直結する。日本が遅れをとっている感が否めない。」「攻めの留学生受け入れに取り組む」
- 外国人教員比率向上、世界の大学との組織連携、職員の国際化
- 学事層柔軟化、英語での学位取得

日本の大学のグローバル化戦略

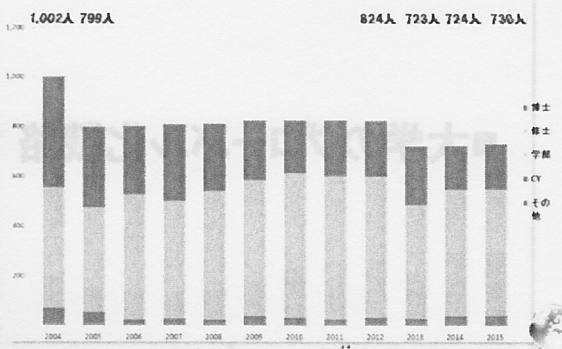
- ・留学生30万人計画(2020年)
- ・グローバル30(～2014年)
- ・スーパーグローバル大学37校(2014-23年)

日本の国際的存在感、国際競争力を強める
諸外国の成長を取り込み経済発展
グローバル人材育成
世界大学ランキング・トップ100に10校以上！(現在2校)

留学生出身国・地域

- 高等教育機関への留学生数 2014年
139,185人(前年135,519人)
- 中国 77,792人(81,884人) 55.9%
- 韓国 13,940人(15,304人) 10.0%
- ベトナム 11,174人(6,290人) 8.0%
- ネパール 5,291人(3,188人) 3.8%
- 台湾 4,971人(4,719人) 3.6%
- 九州18,565人：鹿児島901人・宮崎222人

米山奨学生数の推移



寄付の現状

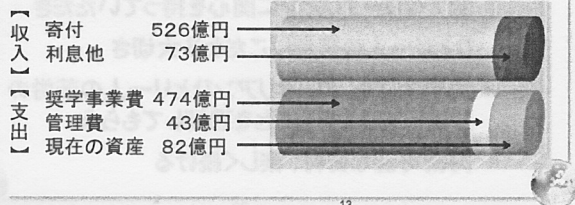
■ 寄付の現状

財団設立からの収支

◆ 日本のロータリ안의寄付が財源

“米山梅吉氏の遺産を基金としている？”ではありません

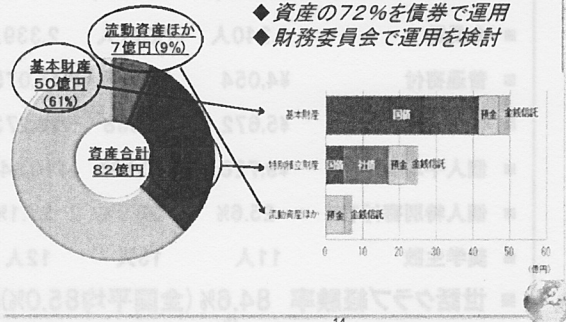
◆ 47年間の収支（財団設立 1967年～2014年度）



13

米山記念奨学会の資産(2014年度末)

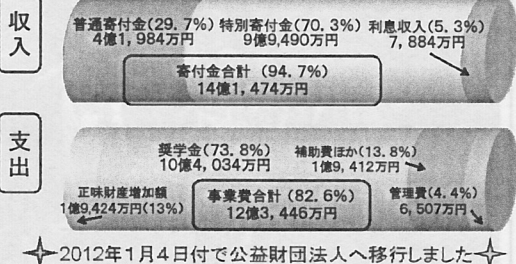
- ◆ 資産合計: 82億円
- ◆ 資産の72%を債券で運用
- ◆ 財務委員会で運用を検討



14

公益性の高さ

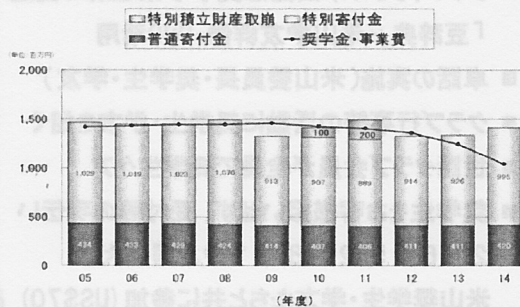
当期支出のうち83%が事業費



★ 2012年1月4日付で公益財団法人へ移行しました ★

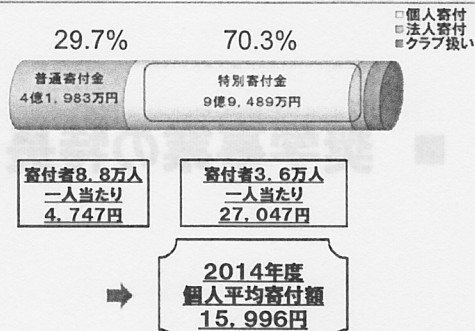
15

寄付金と事業費支出の推移



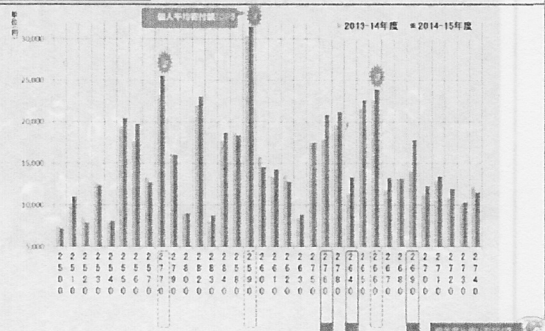
16

特別寄付者は全国会員の41.6%



17

地区別個人平均寄付額



18

国際ロータリー第2730地区

	12-13年	13-14年	14-15年
■ 会員数	2,340人	2,341人	2,339人
■ 普通寄付	¥4,054	¥4,123	¥4,075
■ 特別寄付	¥5,672	¥6,058	¥6,273
■ 個人平均寄付	¥9,726	¥10,181	¥10,349
■ 個人特別寄付者%	25.6%	28.5%	27.1%
■ 奨学生数	11人	13人	12人
■ 世話クラブ経験率	84.6% (全国平均85.0%)		

19

寄付増進の方策

- 多くの会員が奨学生・学友と触れ合う
(世話クラブ・サブクラブ、親善大使、ホームC)
- ガバナー、エレクト、ノミニーによる寄付目標
- 全てのロータリアンに関心を持っていただき、ひとり一人の寄付にこだわる大切さ
- 奨学生にも、ロータリアンひとり一人の苦勞の賜物・浄財であることを理解してもらう
- 持続可能な寄付、楽しく続ける

20

クラブ会長・米山委員長にお願い

- クラブ内での米山記念奨学事業理解の促進
「豆辞典」・米山学友群像・DVD活用
- 卓話の実施(米山委員長・奨学生・学友)
- クラブ行事等の活動に奨学生・学友を招く
- 世話クラブ会員が全員で奨学生ケア
- 奨学生をお客様扱いせず、受付等の手伝い
- 2016年 5/28-6/1 ソウル国際大会
米山奨学生・学友たちと共に参加 (US\$70)

21



22



23

奨学事業の特長

24

奨学生選考について

- 日本と母国の懸け橋となり、国際親善・交流、平和のつくり手の人財育成
- 学業・異(多)文化理解・コミュニケーション能力重視
- 全国34地区共通の選考基準
- 人物本位、コミュニケーション・対人関係力、リーダーシップ力、当奨学金への応募熱意、各種交流への参加意欲、留学目的と将来性、学校・課程・専攻別比率、出身国・地域別比率等

25

世話クラブとカウンセラー

■ 世話クラブ (1959年開始:56年間)

奨学生は「世話クラブ」となるロータリークラブの例会に月1回以上出席し、会員と交流します。

■ カウンセラー制度 (1971年開始:44年間)

世話クラブの会員の一人が「カウンセラー」として、相談役となり、交流の橋渡しをします。指導教官との連携。



カウンセラーと共に



世話クラブ例会出席

奨学生の責務

- 世話クラブの例会に月1回以上出席、会員との交流
- 研究・留学生活に関するスピーチ(卓話)の協力
- 地区及びクラブの行事や奉仕活動への参加
- 米山記念奨学会への年2回のレポート提出



奉仕活動参加



卓話(speech)

28

国・地域別 奨学生・学友数

1.中国	6,154人	7.バングラデッシュ	311人
2.韓国	4,273人	8.タイ	301人
3.台湾	3,406人	9.スリランカ	249人
4.マレーシア	890人	10.ネパール	211人
5.ベトナム	743人	11.モンゴル	203人
6.インドネシア	374人	12.ミャンマー	173人

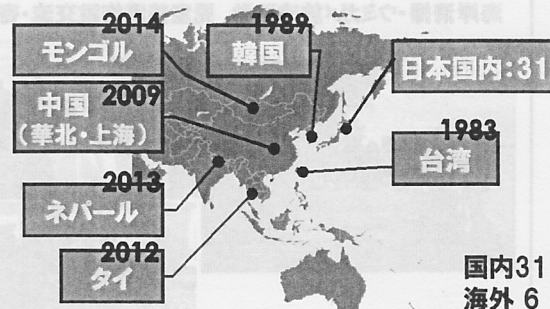
・ 累計で123の国・地域の奨学生・学友は18,648人
(2015年4月現在)

全国の奨学生

- 大学院博士課程 179名 (24.5%)
- 大学院修士課程 253名 (34.6%)
- 大学 学部課程 257名 (35.2%)
- 短大・高専・専修学校生等 14名 (1.9%)
- クラブ支援 8名 (1.1%)
- 海外応募者 14名 (1.9%)
- 海外学友会推薦 5名 (0.07%)
- 合計 730名 (内新規生は553名)

29

学友会組織



国内31の学友会と活動

被災地復興支援・植樹活動



高校での国際理解講座



世界遺産・富士山清掃



秩父音頭祭り参加



台湾米山学友会 (1983年設立)

2014年12月台北で総会開催

毎年日本人留学生
2名に奨学金支給



日本留学フェアで米山アピール



32

韓国米山学友会 (1989年設立)

2014年11月ソウルで総会開催



33

中国米山学友会 (2009年設立)

"We are family"



中国華北分会の
養護学校での活動

2013年6月 上海で総会開催

34

タイ米山学友会 (2012年設立)

海岸清掃・ウミガメ放流活動、児童養護施設交流・寄付



35

ネパール米山学友会

2013年10月カトマンズ
にて設立総会

学校に学用品贈呈



36

モンゴル米山学友会

2014年3月ウランバートルにて設立総会



7月 新モンゴル高校を訪問した板橋名誉理事長

37

ウランバートル郊外の日本人墓地 慰霊碑周囲に30本の植樹

(2015. 5. 3)



38

ベトナム南部米山学友

THU DUC児童養護施設訪問と交流 (2015.1.18)



39

学友とロータリークラブ

1. ロータリアンとなる学友たち、ガバナーにも就任

林 隆義氏(韓国) 1997-98年、RID3650ガバナー
許 国文氏(台湾) 2005-06年、RID3490ガバナー
林 華明氏(台湾) 2015-16年、RID3520ガバナー



2. 学友を中心に設立されたロータリークラブ

1995年1月 台北東海RC(第3480地区)
2007年3月 台中文心RC(第3460地区)
2010年3月 東京米山友愛RC(第2750地区)
2012年6月 東京米山ロータリークラブ2750(第2750地区)
2014年3月 さいたま大空RC(第2770地区)



【学友】姫 軍(ジジュン)さん

中国に投資する日本企業のために

(中国/1995-97/東京大学大学院/東京臨海RC)



北京・上海で弁護士として活躍、顧客は日本企業が多い。2009年3月に発足した中国米山学友会の初代会長、第三代会長。「恩返し」と、米山奨学会へ2007年から9年連続寄付、計約470万円となる。2014年12月世澤律師東京事務所開設、日本共同事業開始。

41

【学友】ジャンチブ・ガルバドラッハさん

モンゴル初の3年制高校を設立

(モンゴル/1998-99/山形大学大学院/山形北RC)

国際基準の3年制高校「新モンゴル高校」を設立。日本をモデルに、部活動・制服・給食等の制度を導入。現在では小・中学校を併設、約1200名の生徒が在籍。2013年7月に日本との友好親善に多大な貢献で、日本の外務大臣表彰を受けた。さらに2014年9月に新モンゴル工科大学及び高等専門学校を創立。



42



部門長 達富 脩 (延岡東 RC)

1. 事業目的の認識

米山奨学会の事業は単に外国人留学生の学資援助という救貧型事業ではなく、彼等を将来日本と彼等の国、さらには他の国々との理解と友好親善平和の架け橋となり得る人材に育成することを目的とした人材投資事業であるという認識を持つことでもあります。そして私たち日本のロータリー会員は米山奨学生をそのような人材に育て上げるつとめがあるということでもあります。この意味合いにおいて、本事業は重要なしかも国内他地区合同の国際奉仕活動なのであります。決して付足し部門ではありません。

2. 人材の育成

1) 募集選考

事業の第一関門は米山奨学生の募集選考であります。この段階において応募学生の中から将来性のある人材を発掘するために書類審査および面接試験を厳正に行う必要があります。またこの選考試験は地区の面接担当者にとって、人材を見抜く訓練の機会でもあります。

2) 世話クラブおよびカウンセラーの選任

そして採用後は地区内のクラブの中から世話クラブおよびカウンセラーを選任させていただき彼等の指導育成をお願いすることになります。世話クラブの選任につきましては各分区のガバナー補佐の方々にお願いしたいと思います。そして世話クラブの会長さんには会員の中からカウンセラーを選任していただきたいと思います。かくして皆さんは以後米山奨学生といろいろと関わって行く中で何時しかロータリーが目指す世界平和に貢献する奉仕活動をやっていることになるのであることをご理解いただきたいのであります。勿論、地区といたしましても関係者と連携をはかり側面的に積極支援することに吝かではありません。

3. 学友会との連携維持

また、一方地区の米山奨学会といたしましては現役奨学生と奨学生OBで構成されている学友会との連携維持にもつとめなければなりません。決して奨学金のやり放し、貰い放しではいけないのであります。後のフォローが大事なのであります。

4. 寄付推進

この事業には当然財源が必要であります。その財源としては会員みなさまからの自主的善意による寄付をお願いするしかありません。野中年度の年間一人当りの希望目標額は1万5千円と設定させていただくことになりました。普通寄付は奨学会の安定財源の条件として文科省に承認されたことでもあり、寄付は強制すべきものではありませんが普通寄付ゼロではいけないのであります。

5. 米山記念奨学会委員会構成の変更

変更の理由は先ず当地区の寄付実績を向上させる必要性から寄付と選考をそれぞれ専任にした方が委員としても活動がしやすく且つ実績向上が期待できること、そしてまた学友委員会については宮崎県内でも今後学友会を立ち上げる必要性から地域性を考慮して県単位で担当したほうがよいのではないかと考えによるものであります。詳細は地区委員会組織図を参照してください。以上野中年度の米山奨学会部門の年度方針とさせていただきます。



委員長 田島 直也 (宮崎中央 RC)

寄付推進と実績向上

金額のことよりも先ず寄付をしようという気持ちをもつことが大事であります。

1. 年度目標 会員一人 計 15,000 円

1) 普通寄付 会員一律上期下期 各 2,500 円

2) 特別寄付 任意拠出 希望額 一人年間 1 万円

2014 年 12 月 当地区一人特別寄付平均実績 10,181 円

全国 34 地区中 27 位 豆辞典 P 13 参照

2. 0 クラブの解消へ

3. 寄付のすすめ

免税措置あり 豆辞典 P 11 参照

1. 寄付の方法

1) 少額積立方式の奨励

2) 米山つり銭貯金箱を個人設置 日掛け、週掛け、月掛けで

一人 1 日 1 円で地区全体 2300 人として年間 365 日で 839,500 円

10 円で 8,395,000 円 100 円で 83,950,000 円 一人平均額は 36,500 円になります。

当地区一人当たりの実績の約 3.6 倍になります。

2. 納入方法 豆辞典 P 9 参照

実績は東京本部で月末集計につき各クラブは 25 日までに直接送金のこと

3. 実績の認識と意欲の向上のために

地区内クラブ別の特別寄付実績を適時月信に掲載

4. 寄付のロゴ

消すな絶やすな奉仕の灯

1 円は 1 円にして 1 円にあらず

1 人の 100 歩より 100 人の 1 歩が大事



委員長 長嶺 貴臣 (宮崎北 RC)

米山記念奨学会ができ60年を超えましたが、この間本年度合格者を含め121カ国18,800人以上の奨学生を支援しております。我が2730地区は254名を支援しております。2012年度までは800名の支援枠でしたが、寄付金の減少に伴い2013年度からは700名の支援になっております。

皆様の寄付金はすべて奨学金として使われております。寄付金には普通寄付と個人、クラブ、地区、企業・団体などが任意で寄付されます特別寄付の二パターンがございます。米山記念

奨学会は公益財団法人ですので、米山奨学会への寄付は、所得税・法人税の税制優遇が受けられます。

地区で奨学生を何人採用できるかは、ほぼ、寄付額の全国比で決まります。

現在当地区の指定校は鹿児島大学、鹿屋体育大学、宮崎大学、鹿児島国際大学、九州保健福祉大学が指定校であり該当者が多数いらっしゃいますので、1大学に偏らないよう各大学別に採用者を振り分けております。世話クラブやカウンセラーの皆様には1年間多大なご迷惑をおかけいたしますが、ロータリーの精神を持ちましてよろしくお願い申し上げます。

なお、米山奨学生に卓話を依頼されたい場合や、例会で米山月間に委員会アワー卓話希望のクラブは地区委員長か寄付・選考委員長までご連絡ください。時間の調整をつけてお伺いさせていただきます。

さて、今年度は地区の小委員会としまして下記のようにすすめさせていただきたいと思っております。

I. 地区委員会基本方針

1. 米山記念奨学会理解の推進
2. 地区米山セミナー（クラブ会長、幹事、米山委員長を含む）の開催
3. 地区カウンセラーセミナー
4. 普通寄付金と特別寄付金の合計で1人当たりの目標寄付額 15,000 円以上
5. 米山奨学生の各クラブでの卓話の推進

II. 活動計画及び年間行事予定

2014 年

- 9 月 地区米山セミナー（都城市）
- ” カウンセラーセミナー
- 10 月 米山月間
- ” 指定校担当官との打合せ（鹿児島・宮崎）
- 11 月 指定校よりの米山奨学生被選考者内定（鹿児島・宮崎）

2015 年

- 1 月 奨学生選考面接会（都城市）
- 2 月 奨学生修了者歓送会（鹿児島市）
- 4 月 新奨学生とカウンセラーのためのオリエンテーション（未定）

どうぞ皆様、米山記念奨学会をご理解いただきまして多大なるご寄付をお願い申し上げます。